

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				一人当たり約4㎡	基準は満たされているが車いす等で狭く感じる時があるという意見がありました。使用しない車いすをガレージに置くと動線を確保している。
	② 職員の配置数は適切であるか		○				基準は満たされているが人手不足。人材難だがあきらめずに補充を行う。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○					2階や1階の狭い方のトイレの手すりやエレベーターがあるといいという意見がありました。
業務改善	④ 業務(活動・行事・施設運営・事務・環境整備など)の改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか						活動を決める時に参画できるとよいという意見がありました。週ミーティングや保育前後の話の中でも活動内容への意見を出してもらっている。そこで意見やアイデアを出していいことをより広く伝える。行事のアンケートなどでCAについても落ちないようにする。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				毎年9月の保護者会で実施→役員会・理事会などで議論→保護者会で公表→都・区に提出→ホームページで公表	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○					
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				3年に1回。今年は亀戸。	結果をスタッフや法人内でも共有し、改善点は取り組みたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○					研修の機会はあるが、内容が実践につながりにくい。様々な障害の内容による講義や実践にすぐつながるような“生の声”の研修は欲しいと感じる。本を読むこと、施設内で共有することも大事だが、外部の方や専門家の話を聞くのは、本を読むのとはまた違う感覚で受け取れると思う、という意見があった。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				放課後等デイサービス計画→こぴあでケース記録とか個別支援計画と言われているもの	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				適応行動とは、年齢相応の周囲の期待の範囲内の行動(社会的な活動への参加、コミュニケーション、運動など)	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○					
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				活動プログラムとは日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動の事。子どもの障害特性や平日/休日/長期休暇の別途に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、内容や取り組みをきめ細やかに設定して支援しているか	○					
適切な 支援の 提供	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる活動プログラムや放課後等デイサービス計画を作成しているか	○					
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○					
	⑯ 行った支援の振り返りを行い、気付いた点や子どもに関する必要な引き継ぎ等をスタッフ間で共有しているか	○				週ミーティングで振り返りや情報交換を行っている。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○					記録をためてしまっていたり、勤務時間内に記録が終わらな、という意見がありました。記録の中身についても話し合いながら改善していきたい。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				子ども一人当たり、年2回ケース会議	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○				①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				2017年度より計画相談の面談に班の担当職員が同席。	
関係 機関や 保護者 との 連携	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				各学校から年間予定(保護者を通じてもあるが)を入手。学校(城東・墨東)が開催する放課後等デイサービス連絡会に出席。必要な時に個別支援会議。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○					
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○					
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					
	26 地域の中で活動したり、障害のない子どもと一緒に活動や場の共有したりする機会があるか	○					
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○					
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○					
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、課題解決のための取り組み(学習会の企画や案内、サービスの紹介、緊急一時保護など)を行っているか。	○				総則には「保護者が子どもに向き合うゆとりと自信を回復することも、子どもの発達に好ましい影響を及ぼすものと考えられる」	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○					
	31 保護者からの子育ての大変さや悩み等を聞いた際、傾聴や共感、意見交換を行う、各事業担当職員につなぐなど、適切なサポートにつなぐ取り組みを行っているか	○					
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○					
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○					
保護者への説明責任等	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	改善目標、工夫している点など
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○					
	35 個人情報に十分注意しているか	○				雇用契約書の署名欄	個人のUSBにケース等を入れて持ち帰る、個人のスマートフォンで撮った写真をメールで送るなど。アルバイトが多く今の方法でしかできないのかもしれないが、ウイルスやネットの対策を検討する必要があると思う。個人の家でケース作業をするのが個人情報流出のおそれがある、という意見がありました。規定を作るなど法人としても取り組みたい。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○					
	37 事業所や障害理解の増進を図るため、地域住民に向けた行事を行う、ボランティアや実習生を広く受け入れる等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○					
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○					
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○					行っているが定期的ではない。訓練は行われているが年間で期間を定期化するとよい、という意見がありました。忙しいとやりそびれてしまうのを改善したい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○					
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○					
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○					
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○					

2018年度 改善点 (事業所向け、保護者向け総括)

勤務時間から出ないように日々の記録ができ、中身もケースに活用できるような内容をおさえて書けるようにする。	片づけや掃除を次の日の送迎前に回すなどして、記録の時間を確保するようにする。記録の書き方については、②と③と一緒に書きがちだが、③考察部分が落ちないように伝達しながら、支援計画作成に必要な取り組みの中身や変化が簡潔に書けるように学び合いながら行う。
個人情報に関する学習を行い、スタッフとしてどうしていくといいか、議論を行う。	ケース作成時のUSBの取り扱いやデータの持ち出し、携帯で撮ってしまった時のデータの処理の仕方など、法人でも議論をしてマニュアルを作成する。スタッフの認識も高め、連絡帳や手紙の取り違えなどに対しても間違えないように工夫を行う。
避難訓練、ツイッターなど、災害時に備えての取り組みを落とさないようにする。	分担している職員が時期を落とさないように気をつける。保護者にも避難訓練の内容などが分かるように伝達を行う。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表 集計：亀戸分（29／35家庭）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	回答なし	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	6			(どちらとも) 天気の良い日は外での活動も出来ているので特に問題ないと思いますが雨の日は行動範囲が狭くなっていると思います
	②	職員の配置数は適切であるか	20	7	1	1	(どちらとも) もう少し多い方が安心!!
	③	障害持つ子供への職員の知識や対応は適切であるか	26	2		1	
	④	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	4		1	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が理解された個別支援計画が作成されているか	28	1			
	⑥	活動プログラムは、子供の興味関心や放課後（長期休暇）の相応しい内容になるよう工夫されているか	24	5			(どちらとも) 昔よりそとでの活動が減ったのが残念（長期休暇）
	⑦	地域の中で活動したり、障害のない子どもと一緒に活動や場の共有をしたりする機会があるか	11	6	6	6	(わからない) なるべく多くの方たちに障害がある人の存在を知ってもらえる機会があるといいなと思います (わからない) わかりませんし、それを求めてません
保護者への説明等	⑧	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1	1	1	
	⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	1			
	⑩	面談では一方的な説明だけでなく、保護者の願いへの傾聴や十分なやりとりがされているか	27	1		1	(はい) 願いを聞いてはくれるが対応はされていない
	⑪	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	3		2	
	⑫	子どもや保護者からの苦情について、窓口を周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	3		7	(どちらとも) 退会された方から話を少しお聞きしたが、その内容について、保護者会で説明がなかった
	⑬	外国籍やコミュニケーションに配慮が必要な保護者に対して情報伝達のための配慮がなされているか	8	1		20	
	⑭	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28			1	
	⑮	個人情報に十分注意しているか	22	3		4	(はい) 何度か連絡帳が入れ違っていた
非常時等の対応	⑯	緊急時対応マニュアル等のマニュアルを策定し、保護者に費用な情報が周知・説明されているか	25	1	1	2	(はい) 亀戸ではツイッター利用があるのかわからない
	⑰	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	2		3	無回答 1 (わからない) 年に1回は少ない気がします
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	28			1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	28	1			